

## 令和5年度入学式 学長式辞

新入生の皆さん、ご入学、おめでとうございます。駿河台大学教職員一同、皆さんを心より歓迎申し上げます。ご父母の皆さまにおかれましては、ご子息、ご令嬢のご入学を心よりお祝い申し上げます。また、ご来賓の皆さまにおかれましては、ご多忙の中、ご臨席を賜り、厚くお礼申し上げます。

本学は、「愛情教育」を建学の精神として、昭和六十二年に創設されました。その精神は、「ひとりひとりの学生をありのままにみつめ、ひとりひとりの夢とその歩みを支援し、自立を促す教育」を実践することを意味しています。本学は、この考え方に基づき、国際化・情報化時代に対応し、かつグローバル化の著しい現代社会における地域社会の諸活動の中で、中核的役割を担う幅広い人材を育成することを目指しています。

さて、新入生の皆さんは、これからいよいよ大学の学生として、その一歩を踏み出すことになります。大学では、まず基礎的な教養、さらには専門分野の知識や技能を学びます。それぞれの専門分野で業績を残してきた教員たちの授業から、学問の奥深さや魅力をぜひ感じとってください。もちろん、大学で学ぶ学問は、すぐに解答の出るわかりやすいものばかりではありません。時に壁にぶつかり、投げ出したくなることもあるかもしれません。しかし、実際の社会で起こるさまざまな問題も、あるいは、人間の生き方や心の問題なども、すぐに白黒の決着がつくほど単純なものではありません。複雑な問題や難しい課題に応えようとして考え抜かれた学問であれば、当然その理解や学習にも時間がかかります。決してあせることなく、気を長く持って学問と付き合い、学び続けていく姿勢が重要です。

また、本学における学びは、学問のための学問にとどまることを想定していません。それぞれの授業では、皆さんがこの先の長い将来にわたって社会人として活躍するための基礎的な能力、すなわち本学で言う「駿大社会人基礎力」を身につけることを目標としています。この「駿大社会人基礎力」の構成要素には、言語処理力、情報収集力、情報処理力、主体的行動力、コミュニケーション力、統率力、チームワーク力、課題発見力、問題解決力など、さまざまな「力」が含まれています。本学では、これら社会で役立つ実践的な「力」を培うために、少人数で構成されるゼミ、主体的な学びを推進するための工夫がこらされた講義、体系的なキャリア教育プログラム、「地域」を学びの場と位置付けたアウトキャンパス・スタディ、世界の各地にある留学・語学研修など多様な学びの舞台や仕組みを準備しています。ぜひ、本学が用意した教育プログラムを積極的に活用してください。

さらに、「駿大社会人基礎力」を鍛える場は、授業の中だけではありません。たとえば、運動部、サークルなどの課外活動や駿輝祭と言われる学園祭への参加なども、自分を磨き、社会人としての基礎力を身につけるよい機会となるでしょう。また、本学に集まるさまざまな地方や外国から来た学生たちと付き合うことも貴重な機会です。異なる文化、考え方、生活習慣を持つ人々の意見を尊重し、多様性を認めながら共通点を探り出し、課題の解決を図ることを学んでください。教室で知識を学ぶこと、大学が準備したさまざまな機会を利用して経験を積むこと、この両者が相まって、皆さんのが「駿大社会人基礎力」は、大きく向上していくはずです。

なお、こうした大学での学びの内容は、高校とはずいぶん異なり、戸惑う人もいるでしょう。また、大学生活になじむことにさまざまな不安があるかもしれません。何かあったら、けっして一人で悩まずに本学の教職員、スタッフに遠慮なく相談してみてください。教職員一同は、皆さんの成長を願い、全力でサポートしていきます。本学の校歌には「知恵の旅人」という言葉が出てまいります。今日、真理を求めて知恵を磨く旅人となった皆さんが、大いに学び、楽しみ、実り豊かな学生生活を送られることを願って、ご入学のお祝いの言葉といたします。

本日は、まことにおめでとうございます。

令和5年4月3日

駿河台大学 学長 大森一宏